



平成28年8月4日

各位

会社名 Oak キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号3113 東証第二部)
問合せ先 執行役員 IR・PR 室長 小玉 誠一
(TEL. 03-5412-7700)

株式会社ピクセラ（東証2部 6731）に向けた成長支援投資のお知らせ

この度、当社は株式会社ピクセラ（以下「ピクセラ社」）が実施する、成長拡大が見込まれるAI関連市場等での事業戦略推進を目的とした総額20億円のエクイティファイナンスの引受けを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新規事業は順調に進捗

ピクセラ社は、平成27年8月のファイナンスにより調達した資金を活用し、以下、3つの成長分野にて事業を展開しています。

【IoT関連事業】

ゲートウェイおよびセンサー製品、ならびにドングルや簡易ホームセキュリティサービスの販売を開始。

【自動多言語翻訳システム事業】

各種デバイスを通じた翻訳および防災情報提供の実用化に向けた開発が最終段階。

【AR/VR事業】

VR開発商品によるスポーツライブ配信の実証実験開始や、パノラマVRが手軽に体験できる視聴アプリケーションの提供を開始。

同社はマルチプラットフォームでのワンストップ・ソリューション設計開発力を効果的に活かし、3つの成長事業を積極的に進めてまいりました。また、同社の既存製品と新技術の機能が加わった新商品開発が実現し、これにより大手通信事業者向けの大型案件が進行しております。

2. 今後の展開はAI（人工知能）を活かしたIoT・自動翻訳・AR/VRの融合事業創出

① AI機能付き4Kテレビ映像受信機

人工知能（AI）を搭載したIoTサーバー接続の、次世代スマート4K映像受信機の開発。

② カメラ画像による顔/表情認識サーバー

IPカメラ映像から人工知能（AI）を活用し人物同定、表情分析を自動で行うサーバーの開発。

③ 音声認識対応コンシェルジュサーバー

ユーザーと音声を使った自然な対話を行う、人工知能（AI）を搭載したコンシェルジュサーバーの開発。

④ IoTによるビッグデータ分析サーバー

個人や住宅のビッグデータを収集分析し、それぞれに適したリコメンドを返すサーバーの開発。

⑤ TVチューナー搭載STB製造

AV関連事業にて、IoT機能を加えることで付加価値を一層高めることが可能なTVチューナー搭載等STBの開発。

3. ピクセラ社への投資総額の内訳

新株予約権の引受：20億円 ※第7回新株予約権10億円・第8回新株予約権10億（権利行使による払込予定総額）

4. 投資後の出資比率

投資後の当社出資比率は48.23%であります。

5. 投資実行の予定日

払込期日：平成28年8月22日（第7回新株予約権）

平成28年9月20日（第8回新株予約権）

6. ピクセラ会社概要（平成28年3月31日現在）

- (1) 商号：株式会社ピクセラ（東証2部 6731）
- (2) 代表者：代表取締役社長 藤岡 浩
- (3) 所在地：大阪府大阪市浪速区難波中2丁目10番70号 パークスタワー
- (4) 設立：昭和57年（1982年）6月
- (5) 事業内容：AV関連事業、IoT関連事業、自動多言語翻訳システム事業、AR/VR事業
- (6) 決算期：9月
- (7) 従業員数：108名
- (8) 資本金：16億96百万円
- (9) 発行済株式総数：21,678,981株
- (10) 株主構成：藤岡 浩 11.70%、田中 良和 4.09% 他
- (11) U R L： <http://www.pixela.co.jp/>

7. Oakキャピタルの成長支援投資

当社は、上場企業が有価証券などを発行して行う資金調達をサポートして、事業の成長戦略に必要な事業資金やM&A資金など、財務戦略に於いて支援や助言を行うと共に、企業価値向上に向けた成長戦略の後押しを行なうことを使命としております。

この度の成長支援投資は、ピクセラ社の事業戦略実現に向けての後押しとなり、同社の業績ならびに企業価値向上に繋がるものと判断しました。また当社は、公正な資金調達の担い手としてファイナンスの引受けに際し、金融庁や証券取引所の定める厳正かつ公正なルールに従い実施すると共に、株式市場に対しては透明性を重視し、投資家の不利益にならない条件で引受けを実施しております。

以 上